

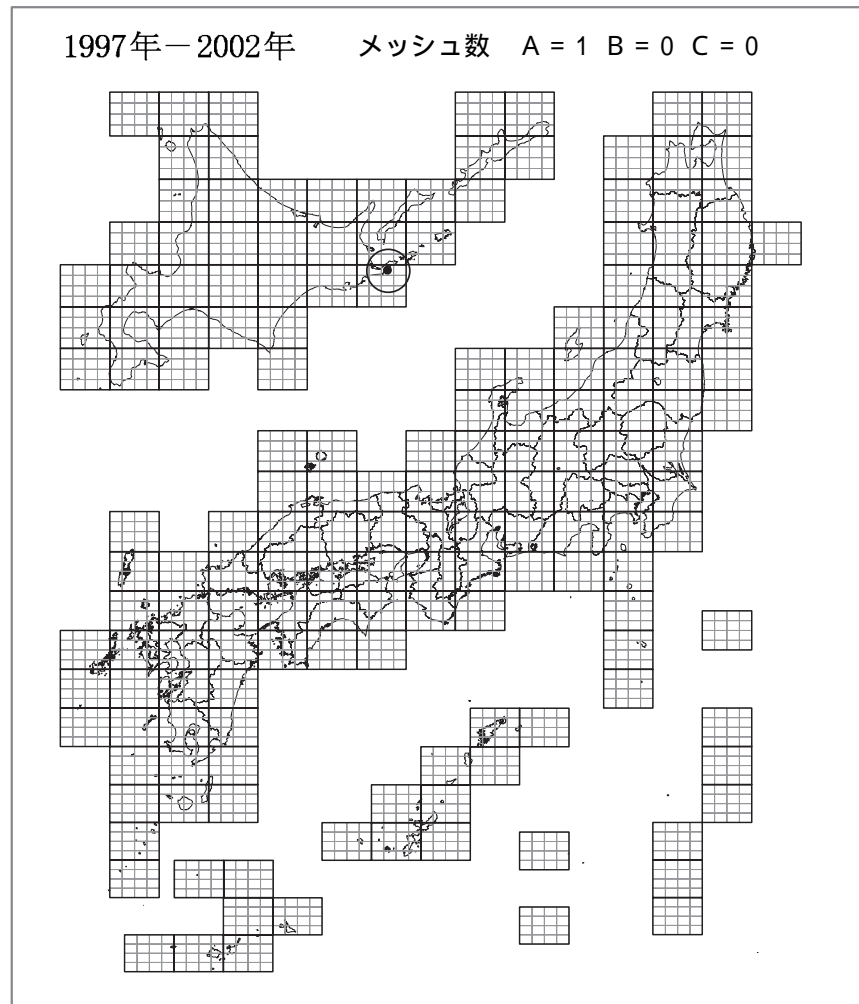
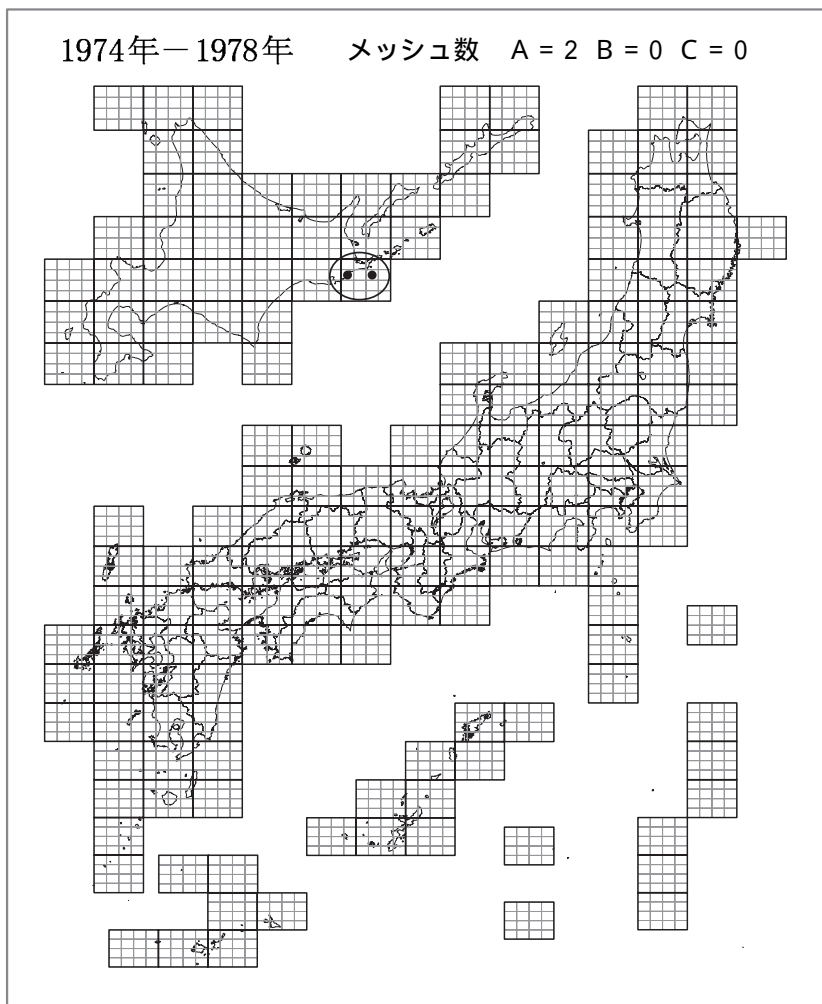
エトピリカ

(分類) チドリ目ウミスズメ科 *Lunda cirrhata*

(環境省RDB種) 絶滅危惧 A類

(分布) 北海道東部で繁殖。冬は北海道の太平洋岸で越冬。北太平洋に広く分布。

(生態) 5～8月に海岸に面した斜面の草地に巣穴を掘って営巣し、1卵を産む。繁殖期以外は海上で生活し、潜水して魚、イカ、甲殻類などをとる。日本での推定つがい数は数～十数つがい程度。漁網による混獲の影響が大きいと言われている。



カラスバト

(分類) ハト目ハト科 *Columba janthina*

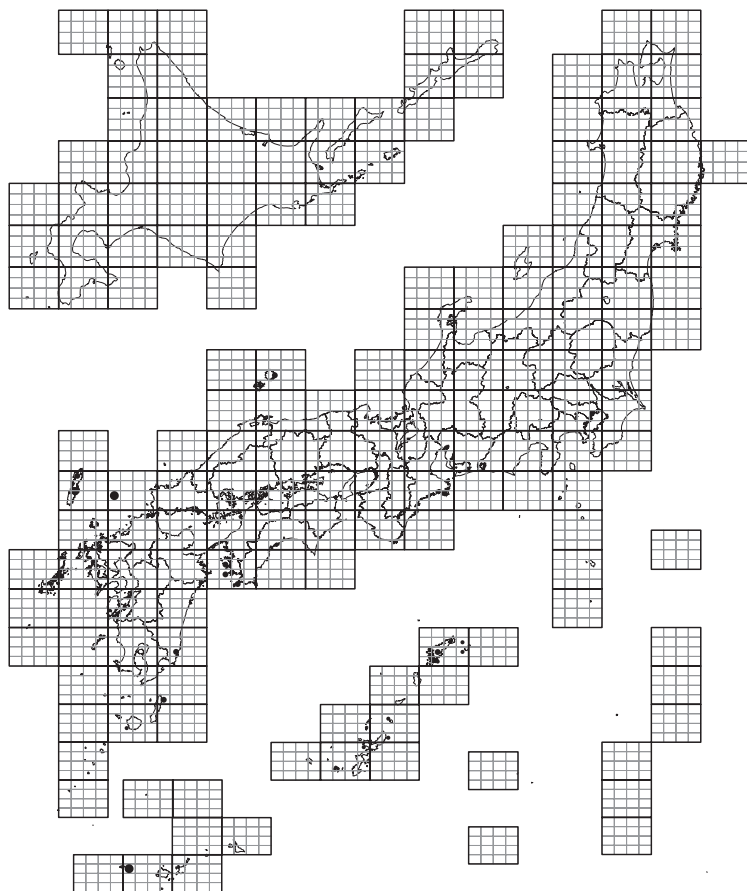
(環境省RDB種) 亜種アカガシラカラスバト(絶滅危惧 B類) 亜種ヨナクニカラスバト(絶滅危惧 B類)

亜種カラスバト(準絶滅危惧)

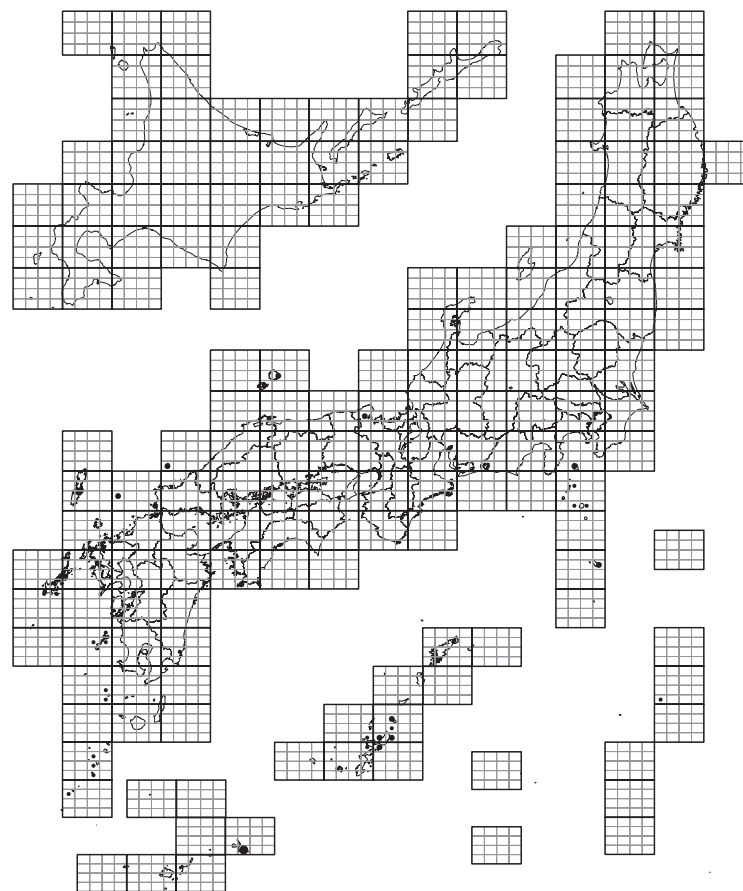
(分布) 本州中部以南の島嶼および朝鮮半島南部の海岸、濟州島、鬱陵島などで留鳥。

(生態) よく茂った常緑広葉樹林に留鳥として繁殖をする。おもに5～6月に1卵を産む。シイ、タブなどの実を好んで食べる。島嶼に限定された分布のため、生態や生息状況に不明な点が多い。

1974年－1978年 メッシュ数 A = 2 B = 8 C = 7



1997年－2002年 メッシュ数 A = 1 B = 12 C = 20



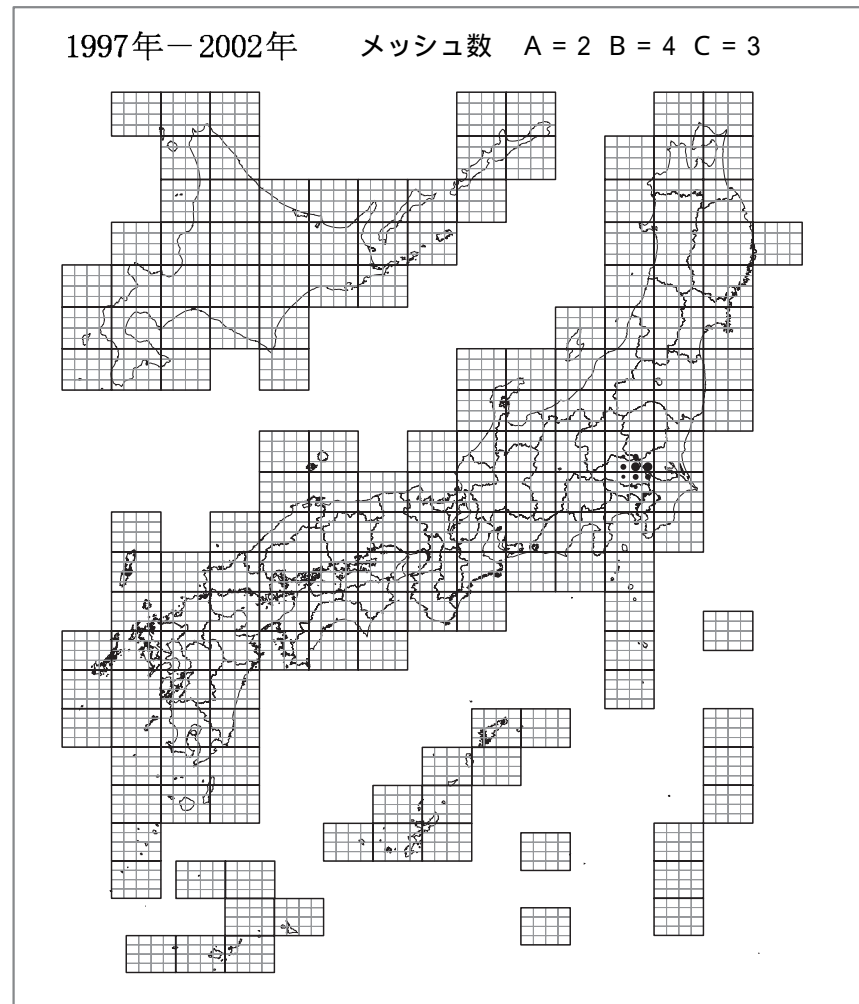
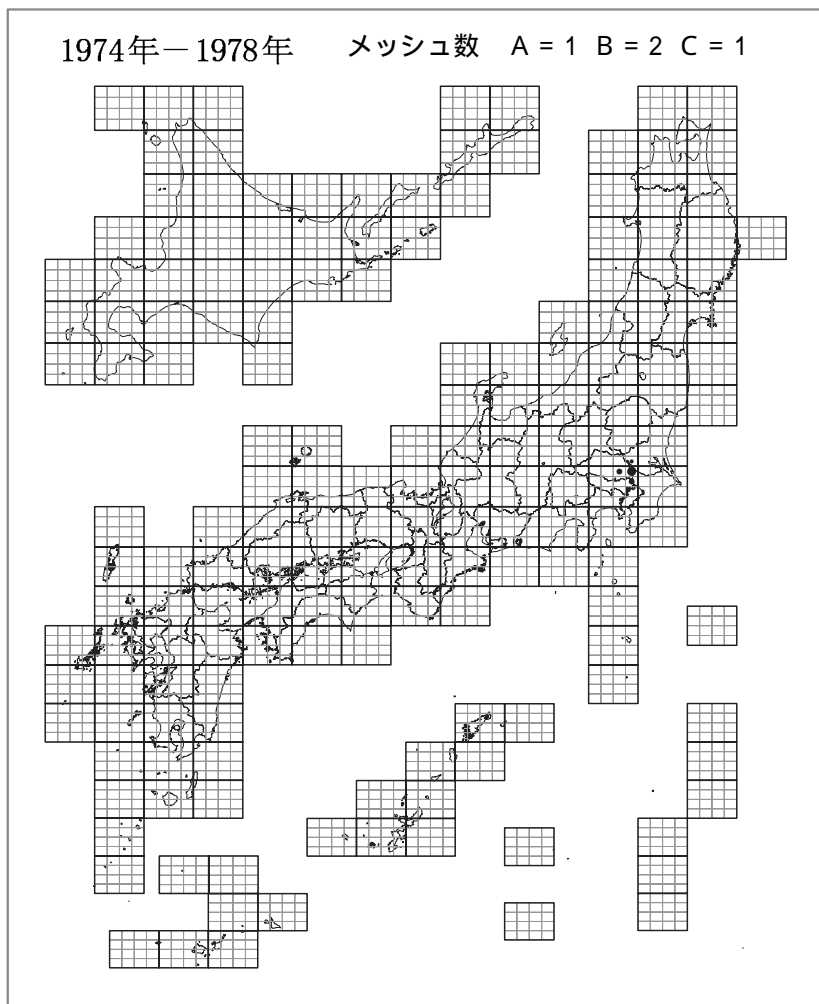
シラコバト

(分類) ハト目ハト科 *Streptopelia decaocto*

(環境省RDB種) 絶滅危惧 類

(分布) 埼玉県などの関東中部に局所的に留鳥。ユーラシアの温帯に広く分布。

(生態) 3～11月頃まで繁殖し、2卵を15日前後抱卵の後、ヒナは16日前後で巣立つ。おもに植物の種子、果実、豆類を食べるが、無脊椎動物も食べる。江戸時代の移入種と言われている。



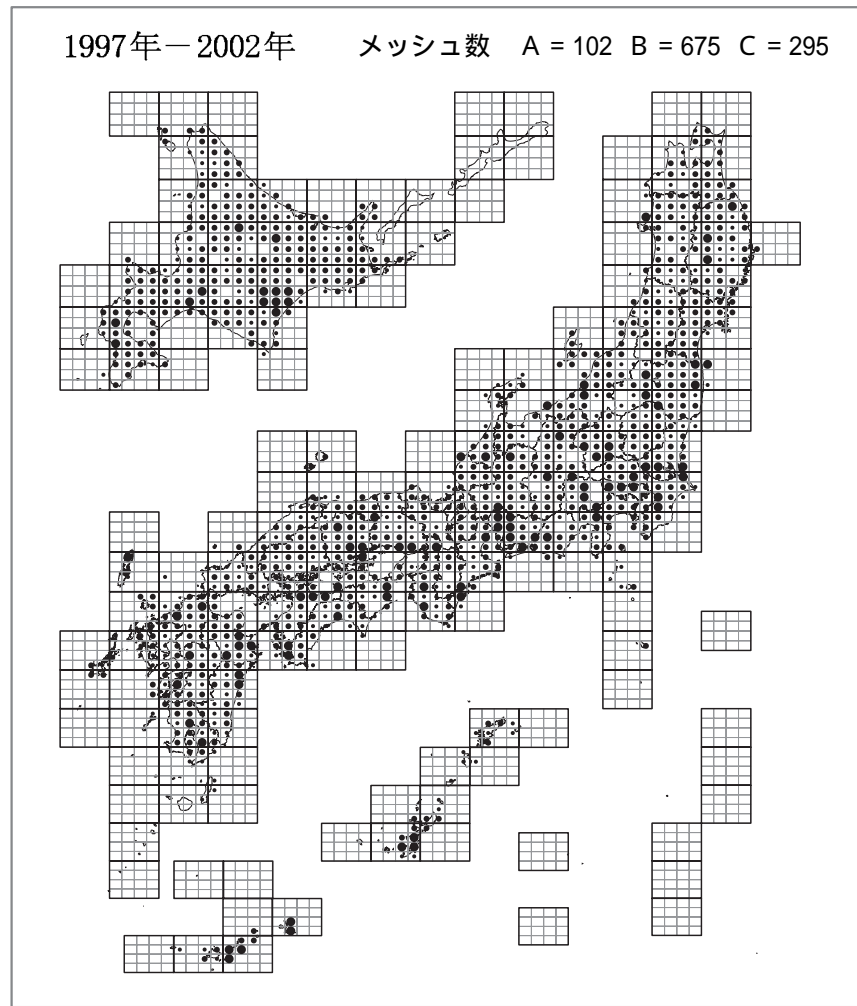
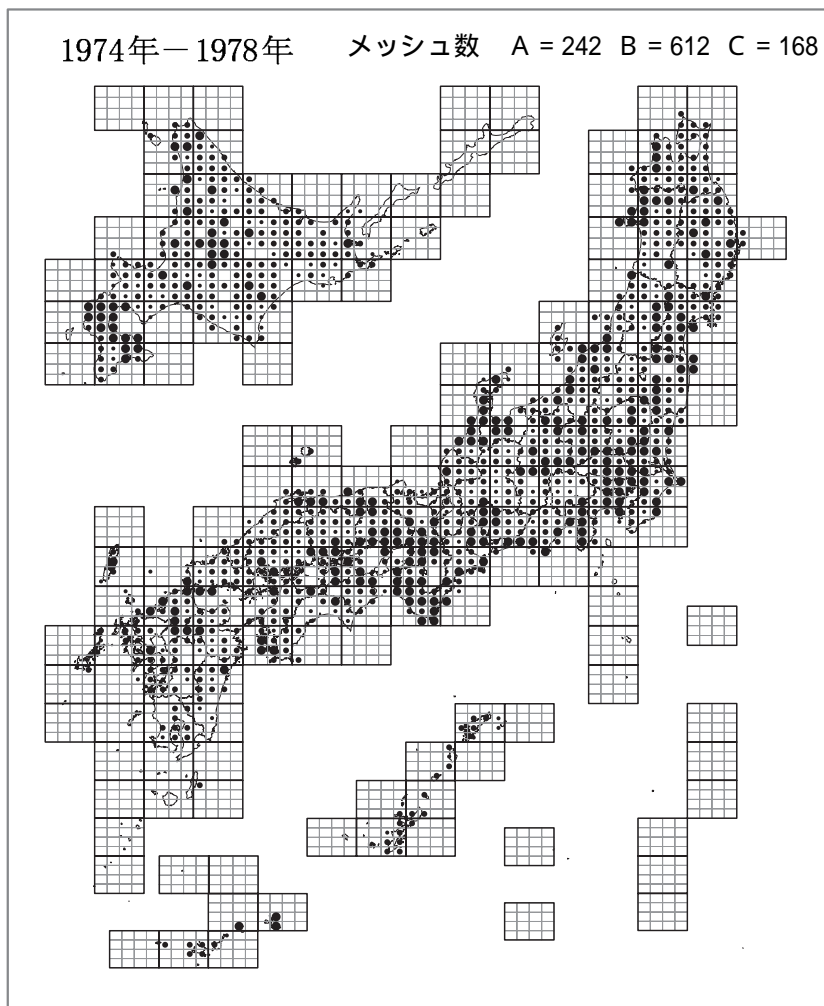
キジバト

(分類) ハト目ハト科 *Streptopelia orientalis*

(環境省 RDB 種) -

(分布) 本州以南で留鳥。北海道で夏鳥。ユーラシアの東部に広く分布。

(生態) 農地や山林に生息していたが、1960年代以降には市街地にも進出して繁殖している。ほぼ通年繁殖し、2卵を15日前後抱卵し、約20日で巣立つ。おもに植物の種子や果実を食べ、無脊椎動物も食べる。



キンバト

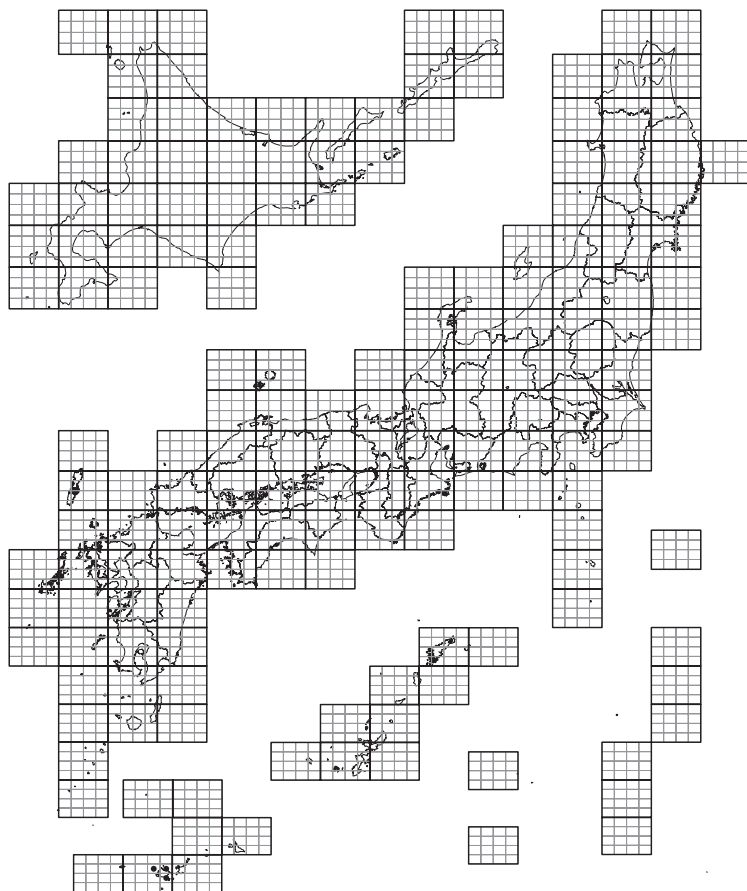
(分類) ハト目ハト科 *Chalcophaps indica*

(環境省RDB種) 絶滅危惧 B類

(分布) おもに八重山諸島などの南西諸島で留鳥。東南アジアからオーストラリアに分布。

(生態) よく茂った亜熱帯性の常緑広葉樹林に生息し、樹上に営巣する。林床を小群で歩きながら種子や果実を食べる。

1974年－1978年 メッシュ数 A = 0 B = 3 C = 0



1997年－2002年 メッシュ数 A = 0 B = 3 C = 2

